

富山経協



CONTENTS

- 2 新年のご挨拶
(富山県経営者協会会長、日本経団連会長、富山県知事、富山労働局長)
- 5 富山経協 新春アンケート
- 10 TOP INTERVIEW
コマツキャステックス 佐藤泰樹社長
- 12 新春互礼会(報告)
- 13 業務日誌
- 13 Keikyo 行事レポート
- 16 参加者NOTES
- 19 調査報告 2010年冬季賞与妥結結果(最終集計)
- 18 新会員紹介
- 19 会員の動き
- 20 富山県の最低賃金
- 21 景況指標
- 22 おしらせ・行事予定

年頭挨拶



社団法人 富山県経営者協会

会長 稲垣 晴彦

会員の皆様には、各社の従業員の方々ともどもに、健やかに2011年のお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は経済全般としては、リーマンショック以来落ち込んでいた景気が緩やかに回復してきた年でした。しかし、一方で、年間を通じての円高傾向は輸出産業を中心に成長の大きな足かせとなりました。欧州各国における通貨不安、世界第2位となった中国の経済発展、国内では、記録的な猛暑や政権交代後初の国政選挙における与党の敗北など経済活動に大きなインパクトを与える様々なことが起きています。また、年後半では、緊急避難的な経済政策の息切れと現政権が成長戦略を描ききれていないことで回復のスピードが鈍化しており、ここ数年來のデフレからの脱却と共に本年の大きな課題となっています。

富山県内の経済環境は、その足取りが若干重いものではあるものの、緩やかな回復基調となりました。特に、当協会の専管事項である雇用に関しては、有効求人倍率が直近で0.76と、絶対値としては満足できるものではないのですが、全国平均をはるかに上回っており、昨年の高卒者の就職率やこの春の内定率が全国一となるなど、県内企業各社の経営者の皆様が強い意志を持って雇用の確保にあたられたことの証しであると思います。

さて、本年ですが、新春互礼会の席上でも申し上げましたように、わずかな刺激が連鎖反应的に広がって予測不可能な変化を起こしていく「不確実性」が更に増大していくと思われます。企業にとってはその戦略や計画が思わぬ障害によって狂わされるという事態が生じてくることが予想されます。この「不確実性」という環境下で、企業活動が前進していくためには少数の経営者のリーダーシップだけでは不十分であると思います。変化に即応する企業内組織のあり方やミドルマネジメントを中心とした人材力を整えていくべきではないでしょうか。当協会では、今年の重点的な方針として会員企業の皆様の組織作りや人づくりに少しでもお役に立てるような活動を強化してまいります。

最後になりましたが、昨年、当協会の会長に就任以来、ほぼ一年が経過いたしました。大変未熟な私にもかかわらず、協会としての活動が滞りなく進み、会員数も増加することが出来ました。これらのことは、ひとえに、会員各位のご尽力によるものと深く感謝申し上げます。皆様には、当協会に対し本年も昨年以上のご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



社団法人 日本経済団体連合会

会長 米倉 弘昌

あけましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたり、年頭のご挨拶を申し上げます。

日本経団連の会長に就任いたしましてから、半年余が経ちました。「強い経済、強い財政、強い社会保障」を目指す菅総理のもと、政府は「新成長戦略」をはじめとする諸施策の早期実現に懸命に取り組んでおられます。経団連といたしましては、こうした政府の取り組みにできる限りの支援を申し上げながら、企業活力による日本経済の復活・再生と持続的な成長を実現するため、自ら知恵を絞り、行動してまいりたいと考えております。

経団連では、わが国の産業競争力の強化に向けた民主導のアクションプラン「サンライズ・レポート」を策定し、先般、公表いたしました。その目玉である「未来都市モデルプロジェクト」では、主に人口20～30万人の都市を舞台に、環境・エネルギー、ICT、医療、交通などの分野で、日本企業が有する最先端の優れた技術を結集して実証実験を行い、革新的な製品、技術、システムを開発し、様々な社会的な課題の解決と、安心して安全な都市づくりに取り組んでまいります。さらに、その成果を広く国内外に展開し、日本の新しい成長産業を創り出すことを目指してまいります。

経団連は、「行動する経済団体」として、企業活力による力強い経済成長の実現に向け、全力を尽くしてまいり所存でございます。本年が、新しい「日昇る国、日本」の夜明けとなりますよう心から祈念いたしますとともに、各地域代表の経営者団体の皆さまの益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭の辞



富山県知事
石井 隆一

明けましておめでとうございます。西暦2011年の初春を県民の皆様とともに寿ぎたいと存じます。

平成16年11月の知事就任以来、多くの県民の皆様のご支援とご支持をいただきながら、ふるさと富山県の発展と県民の皆様の幸せのために邁進してまいりました。

私の変わらぬ目標は、県民の皆様一人ひとりが夢と希望を持って、いきいきと働き暮らせる「元気な富山県」を創ることです。このため、タウンミーティングなどを通して県民の皆様と直接対話し、できるだけ多くのご意見をお聴きしながら県政に反映するよう努め、「活力」「未来」「安心」の三つの基本政策を柱に、各種施策の推進に積極的かつ戦略的に取り組んでまいりました。

まず、北陸新幹線につきましては、平成26年度末までの長野・金沢間の開業に向け、建設工事が順調に進んでいます。また、東海北陸自動車道を活かした伏木富山港の物流機能の拡充、医薬バイオ・ロボット等の産業振興、若者のUターンや観光客の増加など、これまでの取組みの成果が現れてきています。今後は、成長著しい中国やロシアなどの環日本海地域のエネルギーを取り込み、富山県がさらに飛躍するよう取り組んでまいります。

今後とも、勤勉で進取の気性に富む県民性、日本海側トップクラスの産業基盤、豊かで美しい自然、多彩な文化など本県の優れた特色を活かして、将来を見据えた産業の振興、子育て支援、福祉・医療の充実、ふるさと教育をはじめ教育・文化の振興、環境の保全など重要課題に果敢に挑戦してまいります。

また、国内外の社会経済情勢が大きく変化するなか、先見性と戦略性のある新たな総合計画の策定に向け検討を進めているところであり、県民の皆様のご知恵を結集して、実効性ある計画となるよう全力を尽くし、人が輝く「元気とやまの創造」に努めてまいります。

新年にあたり、富山県経営者協会の限りないご発展と稲垣会長はじめ会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。



富山労働局長
堀江 雅和

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

富山県内における雇用失業情勢は、持ち直しの動きが見られるものの、有効求人倍率が0.7倍台で推移するなど依然として厳しい状況となっており、また、新規学校卒業者や未就職卒業者の就職環境は、極めて厳しいものとなっております。景気は、このところ足踏み状態となっており、雇用の先行きについても、現在の円高等の経済状況の雇用への影響なども含め注意が必要と考えております。

就労環境に関しては、解雇や賃金等の労働条件に関する申告や相談のほか、妊娠、出産等による不利益取扱いやセクハラなどの相談も数多く寄せられる状況となっております。

当局では、こうした状況に対応すべく、求人の総量確保のための求人開拓等に取り組むとともに、「新成長戦略実現に向けた3段構えの経済対策（9月閣議決定）」や「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策（10月閣議決定）」に基づく新卒者雇用に関する緊急対策等を機動的に実施しております。また、法定労働条件や労働者の安全と健康の確保、男女雇用機会均等の確保、さらには、次世代育成支援対策など少子・高齢化社会を支える雇用・労働環境の整備にも取り組んでおります。

新しい年を迎えて、気持ちを新たに、これら行政施策に全力で取り組んでまいります。合わせて、生活者、利用者の立場に立って行政サービスの向上に努め、地域の皆様に満足いただける業務運営を進めていく所存でありますので、改めて会員の皆様方の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、富山県経営者協会のご繁栄と会員の皆様のご発展、ご多幸を心から祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

株価に期待感あるものの、 景気回復には今しばらく時間必要。

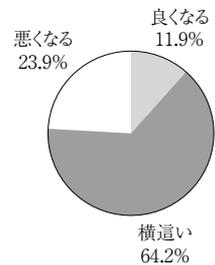
当協会は、理事及び監事を対象に「新春アンケート」を行い、2011年の景気予想等について尋ねたところ、67人から回答があった。アンケート結果は6頁から掲載。その概要を以下に紹介する。

【アンケート結果の概要】

1. 2011年の日本の景気予想

最も多いのは「横這い」の43人(64.2%)で、ついで「悪くなる」の16人(23.9%)であった。エコポイント等の終了に伴い閉塞感が漂う中、昨年とおおむね同じ結果となった。新興国経済や新たな景気対策に期待する意見も少なくないものの、「良くなる」との回答は8人(11.9%)にとどまった。

	人数(人)	割合(%)
良くなる ↗	8	11.9
横這い →	43	64.2
悪くなる ↘	16	23.9

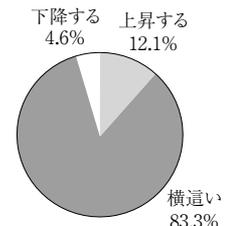


2. 2011年の賃金・物価動向予想

① 2011年の賃上げ

圧倒的多数を占めたのは「横這い」の55人(83.3%)で、ついで「上昇する」の8人(12.1%)であった。

	人数(人)	割合(%)
上昇する ↗	8	12.1
横這い →	55	83.3
下降する ↘	3	4.6

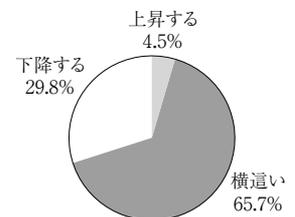


回答のあった賃上げ率の平均は、1.1%であった。

② 2011年の消費者物価

最も多いのは「横這い」の44人(65.7%)で、ついで「下降する」の20人(29.8%)であった。

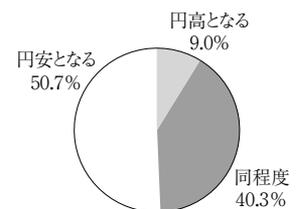
	人数(人)	割合(%)
上昇する ↗	3	4.5
横這い →	44	65.7
下降する ↘	20	29.8



3. 2011年の対ドル円相場予想

最も多いのは「円安となる」の34人(50.7%)で、ついで「同程度」が27人(40.3%)であり、「円高となる」は6人(9.0%)と少なかった。

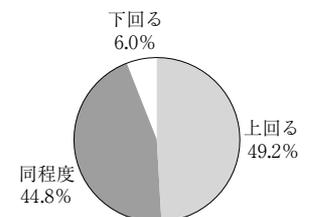
	人数(人)	割合(%)
円高となる ↗	6	9.0
同程度 →	27	40.3
円安となる ↘	34	50.7



4. 2011年の日経平均株価(東証225種)予想

「上回る」33人(49.2%)と、「同程度」の30人(44.8%)が拮抗、「下回る」は4人(6.0%)と少なかった。

	人数(人)	割合(%)
上回る ↗	33	49.2
同程度 →	30	44.8
下回る ↘	4	6.0



アンケートの質問事項

1. 2011年の日本の景気予想
2. 2011年の賃金・物価動向予想
3. 2011年の対ドル円相場予想
4. 2011年の日経平均株価(東証225種)予想
5. 富山県内でお気に入りの場所、景色、光景

No.	企業名	回答者		2011年の日本の景気見通し
		役職名	氏名	
1	アイシン軽金属株式会社	代表取締役社長	堀場 正樹	→ エコカー購入補助金制度など経済対策の終了や世界経済の減速、そして円高の進行による影響が大きくなり、厳しい状況は継続されると予測。
2	朝日印刷株式会社	代表取締役会長	朝日 重剛	→
3	株式会社池田模範堂	代表取締役社長	池田嘉津弘	→ 輸出産業中心に伸び悩むだろう。
4	石崎産業株式会社	代表取締役社長	石崎 由則	→ 見通し難。国内では現政権の景気対策が後手に回っている。円高は一服しているが、海外での情勢不安定、EU諸国の財政再建、米国経済の回復がカギ。
5	株式会社インテック	代表取締役社長	金岡 克己	↗ 政策効果剥落による影響は避けられないが、新興国中心の回復基調、輸出の増加、さらには雇用所得環境の改善により次第に景気回復の勢いが増していく。
6	株式会社大谷工業	取締役	平野 啓次	↘ 設備投資は海外中心、個人消費は反動で失速、公共投資も多くを望めない現況では、若干悪くなると予想。
7	関西電力株式会社 北陸支社	支社長	中島 宏	→ 米国の金融緩和は続くものの、中国を始めとした新興国が景気引締めに動くため。また、国内需要も一連の景気刺激策が終わり、政局も不安定なため。
8	北日本印刷株式会社	代表取締役社長	川口 秀春	↘ 領土問題とユーロ圏の経済不安および日本の「もの造り」空洞化による悪化が懸念される。
9	株式会社北日本新聞社	代表取締役社長	河合 隆	→
10	キタムラ機械株式会社	代表取締役社長	北村 彰浩	↘ この度のTPPに日本が参入を明確にしなかった為ものづくり産業界はアジア市場では韓国に取って変わられる懸念から海外進出増進等により一段と景気悪化。
11	株式会社廣貫堂	代表取締役	塩井 保彦	→ 一進一退。急速な回復は見込めない。地道な施策の着実な積み上げが必要。
12	コーセル株式会社	代表取締役社長	町野 利道	→
13	佐藤工業株式会社 北陸支店	常務執行役員 支店長	江尻 秀夫	↘ 景気対策、とりわけ速効性のある対策が必要。バラマキ的な給付をしても景気回復にはつながらない。
14	三協立山アルミ株式会社	代表取締役社長	藤木 正和	→ 企業の設備投資・雇用環境は最悪期を脱したが大幅な改善は見込めないことや政府の景気刺激策の終了による個人消費の反動減により景気回復には至らない。
15	株式会社シキノハイテック	代表取締役会長	塚田 隆	↗ 欧米の景気持ち直しと新興国の力強い成長により輸出産業の業績改善、それにより雇用の増加、消費の回復が見込まれる。
16	新日本海重工業株式会社	代表取締役社長	杉原七三雄	→ 内需の回復が弱い上、景気刺激策の反動もあるため、弱含みだが、好調なアジア経済を背景に輸出が増加することから、プラス成長は維持する、と思われる。
17	株式会社スギノマシン	代表取締役会長	杉野 芳宏	↗ 少し良くなる。国際競争力の低下と企業の海外脱出加速、失業者の増加が懸念される。デフレ政策からの脱却が急務。緩やかなインフレ政策に転換すべき。
18	第一ファインケミカル株式会社	代表取締役社長	岡田 照美	→ 政権不安定が継続し、為替乱高下。
19	第一薬品工業株式会社	代表取締役会長	石黒龍太郎	→ 今や自国だけの要素で景気は予想できない。外国との相関係数が大きな影響をもたらす。政治が迷走するようでは負の評価を下され、景気は低迷する。
20	ダイト株式会社	代表取締役社長	笹山眞治郎	↗ 当面は横這いが続くものと思われるが、今年後半頃くらいから徐々に景気回復が見られるのではと思う。
21	株式会社大和 富山店	常務取締役 店長	久郷 隆行	→ 円高、株安基調の中、製造業の海外シフト化、不安定な雇用状況から景気の落ち込みが懸念され、政治の不安定要素も加わり、先行き不透明な状況が続く。
22	高岡信用金庫	理事長	在田 長生	→
23	株式会社タカゲセイコー	代表取締役社長	笠井 千秋	↘ 新興国向け輸出の鈍化と政府の景気刺激策の剥落や円高基調持続により、前半は足踏み状態から、やや後退局面を迎えるが、後半は円安効果から回復。
24	武内プレス工業株式会社	代表取締役社長	武内 繁和	→ エコポイントや補助金の廃止で個人消費は縮小するが、新興国の景気拡大に伴い輸出は堅調に推移し、GDP実質成長率は若干のプラス成長を予測する。
25	立山科学工業株式会社	代表取締役	水口昭一郎	→
26	立山黒部貫光株式会社	代表取締役社長	中村 憲史	→
27	田中精密工業株式会社	代表取締役会長	田中 一郎	→ ユーロ地区の不安定が気になる。中国の元の切上げ動向が世界経済にどの様に影響するのか、不安材料はあるがおおむね安定基調だと思う。
28	株式会社チューエツ	代表取締役社長	川上 秀夫	↘ 少子高齢化、就職難、デフレの慢性化、賃金下落、政治不安定等々国内景気については上向く材料が見当たらず、優勝劣敗が顕著になり、景気は更に悪化する。
29	津根精機株式会社	代表取締役社長	津根 良史	→ 円高による輸出環境の厳しさが依然続くと考えられることから、大きな改善は見込めない。
30	東亜電工株式会社	代表取締役社長	辻田 恵一	↘ エコカー減税終了およびエコポイント廃止に伴う消費減で、マイナス成長になる恐れがある。
31	東邦工業株式会社	代表取締役	斉藤 大助	↘ リーマンショックの本流が世界経済を駆け巡る年になるのではなからうか。地球規模での激震が2~3年つづくと思われ、気を引きしめているところ。
32	トナミ運輸株式会社	代表取締役社長	綿貫 勝介	→ 経済対策の終了や縮小、円高の進行などにより、国内企業の生産量の減少、輸出関連企業への影響が懸念され、先行き景況感が不透明と見られる。
33	富山化学工業株式会社 富山事業所	取締役 副社長	堀江 秀明	↘ 国内消費は消費者人口減少により悪化はほぼ確実。拡大市場である東南アジア(特に中国)との関係も悪化している中で、技術による差別化も難しい。
34	株式会社富山銀行	代表取締役 頭取	齊藤 栄吉	→ 新興国経済は堅調に持続するものの、欧米経済の回復もたつことや、これまでとられてきた国内景気対策効果も減衰していくことが予想される。

2011年 賃上げ 率(%)	2011年 消費者物価	円相場	日経平均株価	富山県内でお気に入りの場所、景色、光景
→	1.5	→	→	毛嵐が立つ雨晴海岸を足元にした勇壮な立山
→		→	↘	氷見方面から見た富山湾越しの立山連峰
→		→	↗	会社の窓から望む劔岳
→	1.5	→	↘	馬場島から見た劔岳
→	1.8	→	↘	冬の雪を湛えた立山連峰の眺め
↗	2.0	↘	↘	呉羽山からの立山連峰
→		↘	↗	水墨美術館とアルペンルート、空間美と開かれた高原美
↘		→	→	朝もやの庄川河川敷から望む立山連峰からの日の出(ご来光)
→		↘	↘	雨晴から富山湾越しに見る立山連峰
→		↘	↘	雨晴海岸からアルプスの朝日を見る。特に夏、冬の景色が良い。
→		→	→	上市町の眼目山立山寺のトガの並木。いつ行っても落ち着けます。
→		→	↗	薬師岳山麓
→		→	→	雨晴海岸から見る立山連峰
→	1.3	↘	→	雄山神社中宮祈願殿(芦峯寺)、芦峯寺閻魔堂
↗	1.5	→	→	氷見海岸より日本海越しに見る立山連峰、室堂周辺
→		→	↘	雨晴海岸から見た、新雪で覆われた、立山連峰の景色
→	1.2	→	↘	大川寺上流の常願寺川左岸43号線から見た立山連峰の景色
→		→	↘	ローカルな温泉、氷見沖の舟から見える景色、称名滝、瑞泉寺
→	1.5	↘	↘	旧国道8号を西から東に向かい、呉羽山の峠のピークで臨む立山連峰
↗	1.0	→	↘	当社3階社長室から眺める立山連峰の季節の移ろい風景
→	0.9	→	→	馬場島から見る劔岳を始めとする立山連峰
→		→	→	
→	0.5	↘	↘	富山湾越しに、雪の立山連峰を望む、雨晴海岸
→	1.0	→	↘	立山連峰
→		↘	→	
→		→	→	高さ20mにせまる雪の壁(雪の大谷:立山黒部アルペンルート)
→	1.0	→	↘	富岩運河公園周辺、立山連峰
→		↘	→	冬の立山連峰の勇姿
→	1.0	→	→	大日平小屋へ辿り着くまでの、ほぼ平坦な道からみる大日平の景色
→	1.2	→	↘	立山連峰
→	0.0	↘	↘	仙人池越しの劔・立山
→		↘	→	呉羽山から見える立山連峰
↘	▲1.0	↘	↘	立山、雪の大谷
→	0.9	↗	↘	雨晴海岸から望む立山連峰

富山経協

2011年
新春
アンケート

《回答一覧》

1

(企業名:五十音順)

質問と回答項目

1. 日本の景気予想

(現在と1年後との比較において)

- ↗ 良くなる
- 横這い
- ↘ 悪くなる

※景気見通しについて、記述ください。

参考：・4-6月GDP実質成長率(前期比年率換算):1.5%

・日銀短観(全規模全産業、9月調査):-10

・民間22研究機関平均実質GDP(9月調査)'10年度予想:2.12%、'11年度見通し:1.56%

2.賃金・物価動向予想

①来春の賃上げについて

- ↗ 上昇する
- 横這い
- ↘ 下降する

※賃上げ率… %

参考：'10年の賃上げ率：

0.91%(富山経協調べ・県内企業)

1.86%(日本経団連調べ・大手企業)

②消費者物価動向について

(現在と1年後との比較において)

- ↗ 上昇する
- 横這い
- ↘ 下降する

参考：・'10年9月の対前年同月比消費者物価上昇率:-0.6%(全国)

・民間22研究機関平均消費者物価(9月調査)'10年度予想:-0.82%、'11年度見通し:-0.11%(全国)

3.対ドル円相場予想

(現在と1年後との比較において)

- ↗ 円高となる
- 同程度
- ↘ 円安となる

参考：'10年11月10日 81.82円-81.83円(東京終値)

4.日経平均株価(225種・東証)予想

(現在と1年後との比較において)

- ↗ 上回る
- 同程度
- ↘ 下回る

参考：'10年11月10日 9,830円52銭(終値)

5.富山県内でお気に入りの場所、景色、光景

No.	企業名	回答者		2011年の日本の景気見通し
		役職名	氏名	
35	富山港湾運送株式会社	取締役社長	金尾 雅行	製造業の国際競争力の低下が深刻化し、国内景気は悪化する。政治の混迷もそれに拍車をかけ、有効な打開策が軌道に乗らず当面日本にとって困難な年。
36	富山信用金庫	理事長	山地 清	海外リスクが拡大しないとしても、1%前後という低成長の年となり、この長期停滞から抜け出すのは難しいのではないだろうか。
37	富山スガキ株式会社	代表取締役社長	須垣 純夫	輸出環境は依然として改善の兆しが見えない。但し日本経済そのものは底を打って回復の方向にある。1年経過後に上昇していくのでは期待している。
38	株式会社富山第一銀行	代表取締役会長	金岡 純二	海外経済や為替相場によっては、景気は更に後退する恐れがあり予断を許さない状況が続いている。県内企業も慎重な見方が強く、積極投資は抑えられると思われる。
39	富山地方鉄道株式会社	代表取締役会長	桑名 博勝	景気刺激策の反動減が現れ、内需の回復力が脆弱にとどまること、円高による輸出競争力の低下などから輸出の低迷が続くことを背景に足踏み状態が続く。
40	富山電気ビルディング株式会社	代表取締役会長	金井 昌一	現在と比較すれば良くなるが、頼みの輸出は、円の高止まりと途上国の金融引締めにより鈍化。設備投資の回復が遅れ、個人消費も期待薄、緩やかな成長に。
41	株式会社トヨックス	代表取締役会長	中西 清一	政府財政支援策の終息で、上期は反動減も、アメリカの回復及び新興国の底堅い需要で下期は緩やかな回復基調となる。
42	株式会社ナチロジスティクス	代表取締役	中山 忠行	雇用状況は引き続き厳しく消費拡大は見込めないなかで、新興国向け輸出は拡大傾向を維持し、景気横這いか。
43	日医工株式会社	代表取締役社長	田村 友一	民間企業の設備投資や住宅投資の持ち直しにより実質国内総生産(GDP)は1.5%程度になると予想。
44	日産化学工業株式会社富山工場	取締役工場長	大野 隆己	政治がリーダーシップを取り、リードをしていかないと国内景気はますます低迷していくと思われる。
45	日本カーバイド工業株式会社魚津工場	工場長	富川 哲志	足もとの景気は足踏み状態にあるが、海外経済の回復や円高の是正に伴い輸出の伸びが高まる事、反動減の影響一巡で個人消費持ち直し、プラス成長へ復帰。
46	日本カーボン株式会社富山工場	常務取締役工場長	櫻井 文良	エコカー補助金廃止などで経済の減速が懸念され、何よりも雇用環境が好転するようにならない。従って、消費も上向かないし設備投資も低調であろう。
47	日本海ガス株式会社	代表取締役社長	新田 八朗	企業収益の回復を背景に雇用・所得の改善が進み、景気は緩やかに回復傾向となるが、デフレ基調から完全に脱却するにはまだ時間がかかるであろう。
48	日本海コンクリート工業株式会社	取締役社長	本山 信男	民間設備投資や公共投資が引き続き低調な中、個人消費も盛り上がり欠け、政治の混迷も加わり当面は弱含みの基調を辿るものと思う。
49	富士化学工業株式会社	代表取締役社長	西田 光徳	政策効果が薄減する中、政局の混迷で、新たな景気対策も期待できず、また、円高の影響もあって雇用環境の好転も見込めず景気の浮揚する可能性は低い。
50	伏木海陸運送株式会社	代表取締役副社長	矢富 邦昌	円高による影響と、国際情勢の変化がこの先の日本経済にどのような影響を及ぼすのか、不透明要素がある。政治経済とも安定して欲しい。
51	株式会社不二越	代表取締役社長	本間 博夫	新興国市場の経済成長を受けて、国内・県内の景気も緩やかに回復する。
52	北酸株式会社	代表取締役社長	山口 昌広	
53	株式会社北陸銀行	取締役頭取	高木 繁雄	新興国中心に輸出の回復期待と追加経済対策効果の失速、円高進行による交易条件の悪化のせめぎ合いで、景気の先行きは不透明である。
54	北陸コカ・コーラボリング株式会社	代表取締役社長	稲垣 晴彦	国内の景気は次第に生産の停滞局面から脱して回復している。ただ、長引くデフレにより企業の体力は完全に戻らず、国内民需は回復感に乏しい。
55	北陸通信工業株式会社富山支店	取締役支店長	新田 朋弘	米国経済は減速しており、回復テンポは緩やかなものにと止まると予想される。海外経済の減速による輸出の鈍化と円高により我が国経済は足踏み状態が続く。
56	北陸電気工業株式会社	代表取締役会長	野村 正也	円高の進行、政策効果の剥落等により前半は悪化を予想。米国等海外経済状況の回復が予想されることから後半持ち直しとしても全体として力不足。
57	北陸電気工事株式会社	代表取締役社長	高田 憲一	
58	北陸電機製造株式会社	代表取締役社長	鷹西 賢一	欧米、中国等海外の情勢に影響されるため、見通しは不透明。
59	北陸電力株式会社	代表取締役副社長	松岡 幸雄	日本経済は、国民の知恵と汗でデフレから脱却する転換の年となる。
60	三菱ふそうバス製造株式会社	代表取締役社長	田中 真二	ドル安&円高の影響で輸出が伸びなやむ。国内需要も伸びが期待できないので横這い。
61	三菱レイヨン株式会社富山事業所	取締役兼常務執行役員事業所長	片岡 章夫	日本の景気は企業の競争力に大きく左右される。グローバル競争の激化、円高進行の中、政府は政局・政争・財政難のため有効な策が後回し。景気は不透明。
62	株式会社 源	代表取締役	源 八郎	エコポイントを始め補助金の減額等による個人消費の停滞と税制の改正による実質増税による失望感。
63	株式会社宮本工業所	代表取締役会長	宮本 岳司朗	円高、デフレからの脱却不透明。政権も脆弱で景気の浮揚未だ遠し。
64	株式会社ユニゾーン	代表取締役社長	梅田 ひろ美	やや良くなるものの、業種によって跛行し、年末には停滞気味になる。
65	米原商事株式会社	代表取締役社長	米原 蕃	政策支援も終り、成長戦略の具体化も当分期待できない。国の内外を見ても景気が良くなるとは考えにくい。
66	リードケミカル株式会社	代表取締役社長	森 政雄	景気は緩やかな回復軌道に戻るが、デフレ脱却に至らずアジア経済が自律的回復をみせる中で、財政政策もあり拡大基調となるが、設備雇用の過剰は改善しない。
67	株式会社若林商店	代表取締役社長	若林 啓介	世界景気の回復による外需拡大により、緩やかながら年度後半には改善基調を示す。

2011年 賃上げ	率(%)	2011年 消費者物価	円相場	日経平均株価	富山県内でお気に入りの場所、景色、光景
→	1.0	→	↘	↗	富岩環水公園
→	1.0	→	↗	→	上市町の馬場島から見る剣岳
→	1.8	↘	↘	↗	快晴の呉羽山から立山連峰を望む
→		→	→	→	50年前の鳥尾海岸から見た立山連峰(白砂青松、透明な海、光る夜光虫)
→	1.8	→	↘	↗	富山湾内から見る河川や立山・剣の連峰
↗	1.5	→	→	↗	初春の呉羽山から望む立山連峰。残雪の山並みに映え素晴らしい。
↗	1.0	↗	↘	↗	会社の窓から見える立山連峰
→	1.5	→	↘	↗	城山からの立山
↗	1.0	→	→	↗	八尾カントリークラブ
→		↘	↘	→	冬の立山連峰
→	1.85	↗	↘	↗	魚津市内から見る僧ヶ岳、毛勝三山と滑川市内から見る剣早月尾根
↗	1.0	↘	↘	↗	秋、河川が織り成す溪谷美。冬、富山湾越しに晴れ上がった立山連峰。
→		→	↘	↗	富山市環水公園
→	1.0	↘	↘	→	環水公園
→	0.0	→	↘	↗	北アルプス剣岳
→	1.3	→	→	→	雨晴海岸から見る立山連峰
		→	→	↗	会社から見る立山連峰
→		→	↘	→	
→	1.0	→	→	↗	朝な夕なの立山連峰
→		→	↘	↗	黒薙川北又谷の長瀨
→		→	→	↗	岩瀬大町・岩瀬浜周辺～環水公園
→	1.0	↘	→	→	室堂、弥陀ヶ原周辺
→	0.0	↘	↗	→	
→	1.0	→	→	→	呉羽山から望む立山連峰
↘		↘	↗	↗	自宅の庭
→	1.2	→	→	→	立山・黒部アルペンルート
→	1.0	→	→	↗	夕焼けの立山連峰
→	1.0	→	↘	↘	神通川左岸からの立山連峰
→	1.0	→	↘	↗	冬の立山連峰
→	0.0	→	→	↗	立山
→		↘	→	→	立山雪の大谷、氷見海岸から見る立山連峰、チューリップと散居村
→	1.5	→	→	→	
↗	1.0	→	↘	↗	北陸自動車道呉羽山切り通しから見える立山連峰と富山市

富山経協

2011年
新春
アンケート

《回答一覧》

2

(企業名:五十音順)

質問と回答項目

1. 日本の景気予想

(現在と1年後との比較において)

- ↗ 良くなる
- 横這い
- ↘ 悪くなる

※景気見通しについて、記述ください。

参考：・4-6月GDP実質成長率(前期比年率換算):1.5%

・日銀短観(全規模全産業、9月調査):-10

・民間22研究機関平均実質GDP(9月調査)'10年度予想:2.12%、'11年度見通し:1.56%

2.賃金・物価動向予想

①来春の賃上げについて

- ↗ 上昇する
- 横這い
- ↘ 下降する

※賃上げ率… %

参考：'10年の賃上げ率：

0.91%(富山経協調べ・県内企業)

1.86%(日本経団連調べ・大手企業)

②消費者物価動向について

(現在と1年後との比較において)

- ↗ 上昇する
- 横這い
- ↘ 下降する

参考：・'10年9月の対前年同月比消費者物価上昇率:-0.6%(全国)

・民間22研究機関平均消費者物価(9月調査)'10年度予想:-0.82%、'11年度見通し:-0.11%(全国)

3.対ドル円相場予想

(現在と1年後との比較において)

- ↗ 円高となる
- 同程度
- ↘ 円安となる

参考：'10年11月10日 81.82円-81.83円(東京終値)

4.日経平均株価(225種・東証)予想

(現在と1年後との比較において)

- ↗ 上回る
- 同程度
- ↘ 下回る

参考：'10年11月10日 9,830円52銭(終値)

5.富山県内でお気に入りの場所、景色、光景

「特殊技術」の伝承へ 人財育成に力入れる

コマツキャストックス株式会社
代表取締役社長

佐藤 泰樹 氏



コマツキャストックス（K C X）は、小松製作所氷見工場をルーツとし、国内の鑄造部門を集約されました。

鑄造産業はコスト競争で海外にシフトし、国内の会社数は半減しています。コマツでは組織再編で鑄造事業を分社化し、1997年にK C Xを設立しました。グローバルに展開するコマツグループのなかで、当社は鑄造技術に関する責任

を一手に担うマザー工場となっています。

K C Xの小山工場（栃木県）は昨年末で生産を終了し、氷見の本社工場で昨年5月に稼働した国内最大規模のC B鑄鉄工場（エンジン用シリンダブロックなどの大型鑄鉄品製造工場）に全面移管しました。これでコマツの国内の鑄造工場はすべて氷見に集約となりました。

本社工場と氷見第1工場の生産の現況や、鑄造の特徴などについて。

本社工場ではシリンダブロックなどの鑄鉄品製造のほか、主に建設機械、鉱山機械の足回り用鑄鋼品の製造、氷見第1工場では油圧操作弁用の鑄鉄品の製造を主に行ってきました。鑄鋼の生産量は日本一で、鑄物業界でのシェアは18%。鑄造は製造の最終段階になるまで、できのよし悪しが分からないなど非常に難しい商品です。一見ローテクのように見られがちですが、技術的にも解明する点が多く残っています。そのため難度の高い技術が必要で、人手もかかります。従業員は約900人おり、付加価値を高めるため機械加工して出荷するものもあり、60名程が機械加工に携わっています。

リーマンショックをどのようにしのがれましたか。

2009年の売上げは、2008年度の540億円から半減しました。休業、有期社員の見直しなどの固定費削減で対応してきました。昨年4月からコマツの建機の売上げが中国などアジアで急回復してきて、今期は470億円ほどを見込んでいます。今後、新興国のインフラ整備が見込まれます。コマツグループのこれまでの歴史を振り返っても、建機は成長産業です。

—氷見でグローバル会議—
マザー工場としての役割は。

売れるところで造るという考えから、海外での生産は増えていきます。海外へは日本の技術を水平展開して、比較的簡単な量産品を造る。マザー工場では、コマツの競争力を高めるため、高難度で付加価値の高いものづくりにチャレンジしていきながら、海外では真似できない技術を磨いていきます。

KCXは中国の小松（常州）鑄造（KCF）、タイのバンコク小松工業（BK I）へ出資し、中国現地企業とのジョイントベンチャーで山推鑄鋼（SSC）を展開しています。このほかコマツグループの鑄造工場はインドネシア、アメリカ、ブラジルにあり、鑄造技術に関しては当社がすべて面倒をみています。また年1回、グローバル会議を開いて情報交換を行っています。昨年10月にも氷見に各鑄造工場の責任者が集まりました。

—技術屋集団に教育—

グループの鑄造レベルを氷見で上げて、管理もしていくのですね。

マザー工場の役割ですね。鑄造は技術的にも技能的にもノウハウの固まりです。そのため大変絞られた世界の技術屋集団になりがちです。例えば油圧ショベルの油圧コントロールバルブは当社が技術的にも量的にも日本一ですが、それだけでは役割を果たしていません。分からないところは研究して解明し、新しい技術・技能にしていく。そして、伝授して人を育てていくことが重要な役目です。その仕掛けとして毎月1回、研究開発会議を開催し、発表会もしています。

高い技術を持つ人財の育成は、どのようにされていますか。

鑄造を専門に教える大学はない

ので、入社1～2年目の社員を対象に年1回、「鑄造テクノカレッジ」を開催しています。私たち部長以上が先生です。現場レベルでは技能者の教育カリキュラムもあります。コマツグループ技能競技大会においては毎年、鑄造部門の開催工場として、造型、手入れ、溶解の3部門で技能オリンピックを実施し、海外からも参加しています。また、優れた技能者をマイスターに任命し（造型1、溶解2、保全1人）、海外工場の立ち上げ指導でも活躍してもらっています。現在、中国に2人派遣しています。モノづくりを支える生産技術者の育成としては、コマツの企業内学校「コマツ工専」に毎年派遣し、今年の春で5期目となります。今後も教育への投資は惜しみません。**エネルギー消費量が多いと思いますが、環境対策は。**

省エネは大きなテーマです。工場から出た廃棄物（スラグ）を利用して、道路の路盤材を生産しています。また、廃砂を再生したエコ生コンは社外向けに販売しておりますが、近隣の皆様からも大変好評をいただいております。リサイクル率は99%にのぼり、2003年にエコ事業所の認定を受けました。**ものづくり工場の管理の秘訣は。**

現場の意見が色々なチャネルから入るように仕掛けています。私自身が重視しているのはQCサー

クルで、必ず月1回は現場の改善活動の発表に出ています。若い人の顔を覚えることもできますし、私の思いも伝える機会になります。また、コマツの毎月1回の工場長会議には必ず出て議論します。

アメリカでの勤務も長いとお聞きしていますが、コマツの強みは。

私が11年いたアメリカは「個人の責任」という考えから、チームプレーをあまりしない。日本人はチームプレーが得意で、すり合わせが必要な建機業界にはとても向いています。このDNAをグローバルに教育しなければなりません。その一つに「コマツウェイ」というコマツの強さを支える信念・心構え・行動規範があり、それによって伝えてようと努力しています。ただ、最近の若い人は昔とは違って難しく、色んな仕掛けをしていかなければ、あっという間に崩れるでしょう。一番怖いのは中国。真似をすることの後ろめたさがほとんどない。常に1歩、2歩先をいかないと、日本は追い越されてしまいます。

座右の銘は。

執行役員になったときに決めた「日々是好日」です。一日一日、良い日であろうと思っています。時折悩むこともありますが、できるだけ明るくいこうと心掛けています。

会社概要

コマツキャストックス株式会社

創 立：1997年7月

所在地：氷見市下田子1番地3

資本金：49億7,900万円

事業内容：建設・鉱山機械などの鑄鉄部品、鑄鋼部品の製造販売

従業員数：900人（2010年11月末現在）

売上高：275億円（2010年3月期）

— 略 歴 —

1948（昭和23）年9月生まれ。大分県別府市出身。東京工大工学部卒後、1971年に小松製作所（現コマツ）入社。コマツアメリカ生産本部長、真岡工場長などを経て2007年4月、コマツキャストックス代表取締役社長。



新春互礼会

県内4団体合同で初開催



▲ 黒田県中小企業団体中央会長



▲ 石澤県商工会連合会長



▲ 稲垣県経営者協会会長



▲ 犬島県商工会議所連合会長



▲ 石井県知事

1月4日(火)16時から、富山県経営者協会ははじめ富山県商工会議所連合会、富山県商工会連合会、富山県中小企業団体中央会の県内経済4団体合同による初めての新春互礼会を、富山電気ビル大ホールで開催した。当協会会員企業230人を含む400人が、県内地域経済の発展に向けて決意を新たにしました。

黒田輝夫県中小企業団体中央会会長の開会の言葉、石澤義文県商工会連合会会長の新年の挨拶の後、来賓を代表して石井隆一富山県知事から祝辞をいただいた。

稲垣晴彦当協会会長の「4団体による初めての会であり大変意義深い。今年もこれまで以上に不確実性が増す。リーマンショックで懲りたにもかかわらず、いまだに実体経済とかけ離れた状態が続いている。人類全体が、富裕を求め、社会の高度化、ネットワーク化が急速に進み、その複雑性がより不確実性の要因となっている。

一橋大学大学院名誉教授の野中郁次郎先生によると「このような不確実性のなかで企業を経営し

ていくには、その企業のキーパーソンは、根底にある文脈をしっかりと読み取って最適に対応していかなければならない」としている。

一人の優秀な企業経営者がその能力を発揮してそれぞれのプレイヤーを活かす、いわば交響楽団の指揮者の立場で企業経営を行なっている。これからは少し視点を変えて、ジャズの世界を取り入れていくことも必要ではないか。それぞれの演奏者が自身の最適な演奏を行い、共演を楽しみつつ全体の調和がとれるジャズの世界。これからの企業経営に取り入れることが企業内の人づくり、組織作りにもつながる」とし、参会者の健勝、各社、各組織の発展、富山県の繁栄を祈念して乾杯し、歓談した。

犬島伸一郎富山県商工会議所連合会会長による中締めでは「政権交代後の政治状況、尖閣諸島問題、日本のGNP3位転落という3つの大きなショック。この厳しい事態の認識からすべてが始まる。禪を締め直し、来年は明るい顔で再会しよう」との檄ののち、力強く万歳三唱した。

業務日誌

2010年 11月11日～ 2011年 1月 5日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加者数
会 議	メンタルヘルス研究部会	人事・労務政策	11月11日(木)	富山経協・研修室	18名
	教育委員会 研究部会	教 育	11月15日(月)	富山経協・研修室	7名
	教育委員会「定例委員会」	教 育	11月15日(月)	富山経協・研修室	14名
	人事・労務政策委員会「幹事会」	人事・労務政策	11月29日(月)	富山経協・会議室	9名
	文化交流委員会「定例委員会」	文化交流	12月 7日(火)	立山黒部貫光「立山研修会館」	11名
	経営特別委員会	経営特別	12月 9日(木)	富山経協・会議室	10名
	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	12月10日(金)	富山経協・研修室	25名
	教育委員会 研究部会	教 育	12月14日(火)	富山経協・研修室	4名
	教育委員会「定例委員会」	教 育	12月14日(火)	富山経協・研修室	15名
	総務委員会「定例委員会」	総 務	12月16日(木)	富山電気ビル	7名
	環境委員会「幹事会」	環 境	12月17日(金)	富山経協・研修室	13名
	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	12月22日(水)	富山経協・研修室	13名
	新春互礼会		1月 4日(火)	富山電気ビル	400名
セ ミ ナ ー ・ 講 座	管理者基礎コース	教 育	11月12日(金)・13日(土)	インテック大山研修センター	34名
	ものづくり講演会	品質管理	11月15日(月)	富山県民会館	146名
	コスト改善力実践コース	教 育	11月17日(水)	富山商工会議所ビル	34名
	会員交流ボウリング大会	文化交流	11月17日(水)	富山地铁ゴールデンボウル	120名
	環境委員会事例発表会	環 境	11月18日(木)	富山商工会議所ビル	44名
	管理職マネジメント研修(第3回)	教 育	11月19日(金)	富山県農業総合研修所	29名
	管理職マネジメント研修第一・二期生合同同期会	教 育	12月 1日(水)	富山電気ビル	30名
	「5S+目で見える管理活動」実践コース	教 育	12月 2日(木)	富山商工会議所ビル	75名
見学と講演の会	文化交流	12月 7日(火)	立山黒部貫光「立山研修会館」	20名	

経営特別委員会

■第31回委員会

12月9日(金)、第31回経営特別委員会を、守山委員長はじめ委員10名が参加して富山経協・会議室において開催し、組織活性化への仕掛け・取り組みの研究成果のまとめとなる「小冊子 基礎編」について審議を行った。

守山委員長より、前回の委員会で決定した小冊子編集案に基づき

基礎編のたたき台を作成した。事務局から説明後、ご意見をいただき内容を決めていきたいとの挨拶があった。

引き続き事務局より、基礎編は①企業組織とは ②組織活性化へのポイントの2部構成でまとめた等のたたき台の説明後審議を行い、①中項目については、なぜこの項目があげられているのかの説明を加える ②「こうあるべきだ」の

表現については、個々の企業のいろいろなケースが予想されるので表現を柔らかくする ③今回の審議内容を受けての見直し版を12月24日までに各委員に送り意見をいただく ④引き続き「事例編」の編集作業を進め、次回委員会で審議することを決めた。次回委員会は3月4日に開催する。

総務委員会

■定例委員会

12月16日(木)、金井委員長はじめ委員7名が出席して、富山電気ビルで開催し、下記の議案について審議した。



(1) 部会報告

社内コミュニケーション部会と総務部会の活動報告、並びに新年度の活動計画(案)の説明を行い、了承された。

(2) 2010年度事業報告

2010年度事業結果について報告し、了承された。

(3) 2011年度事業計画(案)

2011年度事業計画(案)については、各社の人事異動時期を勘案して今年度より見直しを行った「会員企業名簿」の発行時期(9月)など、基本的に本年度と同様の計画が了承された。

■総務部会<企業見学研修会>

11月9日(火)、(株)廣貫堂呉羽工場において企業見学研修会を開催。7名が参加した。

交通至便な富山西インターに程近い呉羽南部企業団地で9月より本格稼働した同工場は、計量から最終包装まで一貫した最新ラインを導入し、固形剤を生産している。

荒井工場長や松田管理グループマネージャーにご対応いただき、初めにビデオで工場概要や自動搬送装置などの設備内容を視聴した。

見学は入出庫、包装、品質管理

などを中心に回り、自動化と人手による部分とが巧みに組み合わせられていた。工場の内部、敷地とも未だゆとりがあり、今後の事業拡大を見据え、基幹工場としての拡張性も残している。

呉羽丘陵での環境との調和にも配慮しているが、見学の際に通った廊下が鏡のように磨き上げられ



ていたのが印象的であった。

人事・労務政策委員会

■幹事会

11月29日(月)、綿貫委員長はじめ9名が出席して、富山経協・会議室で開催した。

まず、今年度実績と今後の計画について報告があり、次に、2011年度事業計画について審議し、①活動方針②具体的活動項目③常設部会の3項目の計画案と、新委員の募集、講座・セミナー収支の改善策等をまとめ、12月10日の定例委員会に諮り決定することとした。

■定例委員会

12月10日(金)、委員25名が出席して、富山経協・研修室で開催した。



綿貫委員長の挨拶の後、事務局より実施事業活動について説明。今後の計画について、①2月22日定例委員会を開催し、1月末発行予定のメンタルヘルス小冊子を基に研究成果の発表と情報交換を行う。②3月3日連合富山との懇談会を開催する。以上、出席委員全員の

了承を得た。

【2011年度事業計画案について】

・2010年度事業活動の成果と反省をもとに、次年度の課題として次の項目を掲げた。

- 1) 委員会参加率の向上と人脈構築につながる場の設定
- 2) より的確でタイムリーな行政等の情報把握と提供
- 3) 人事・労働情報を基にした富山経協と経団連の交流強化
- 4) 委員会事業活動の収支改善

・2011年度事業計画(案)の具体的活動項目として、新たに次を掲げた。

- 1) 労働法関連法制の研究・メンタルヘルス対策の研究を上げ、両研究部会を常設とする。
- 2) 調査活動の実施。
- 3) 行政・経団連との情報交換会の開催。

・同時に、委員会の重点取り組み事項として、次の項目を掲げた。

- 1) 委員会活性化のため、新委員を募る(3~5名)
- 2) 委員会未参加委員への参加呼びかけ。
- 3) 委員会の収支改善に努めるため、①セミナー開催時間を半日とし参加しやすい環境にする。②講座受講料を2,000円から3,000円にする。③労働法関連法制研究部会を会費制とし

年会費15,000円とする。

以上、審議の結果、出席委員全員から異議なく承認された。

続いて、高岡法科大学教授 豊本治氏を講師に招き、「改正労働者派遣法について」講演をいただいた。

「派遣法は最近の政府動向では、改正される可能性が極めて高い。改正されると、企業の負担は計り知れない。現行派遣法は誤解が多く、特に26業務に対する認識、派遣を望む声と企業側の事情に対して、行政の行き過ぎた指導は問題であった。

特に今年に入ってから、「付随的に行う業務の割合」について、これまで厚労省が示していた見解（通達）をすべて無視した、明ら

かに派遣法改正（実質的な派遣法つぶし）を視野に入れた内容の極端な規制の通達が出ている。政府・行政の動きを十分把握してこれからの対応を考えなければならない」とした。

■労働法実務コース（第3回）

11月10日（水）、「一人加入労働組合との対応と問題点について」をテーマに、38名の参加を得て富



山商工会議所ビルで開催した。

第一芙蓉法律事務所の木下潮音弁護士は、労働組合活動の変化に伴い、従来、労働組合がなかった企業などに対して一人加入労働組合からの団体交渉申入れ等新しいタイプの労使問題が発生しており、労働組合との対応を初めて経験する企業の人事担当者にとっては、一つひとつの発言や文書が不当労働行為として追及されるのではないかと不安にかられる事柄も少なくないことから、一人加入労働組合との対応について、最初の申入れを受けるところから団体交渉の開催、問題解決まで、その具体的な対応策や労働組合法上の問題点について詳しく解説した。

教育委員会

■定例委員会

11月15日（月）、14名が出席して富山経協・研修室で開催した。

武内委員長挨拶の後、2010年度事業実施について、階層別・職能別教育、委員会活動、研究部会活動の経過報告と「各講座のアンケート評価」、「参加者数の推移」等の資料に基づき評価を行った。



また、12月14日（火）には15名が出席して富山経協・研修室で開催し、前回協議した問題点・課題を踏まえて、2011年度事業計画（案）について審議し決定した。

委員会活動は、①定例委員会等で情報交換活動・特定テーマの事

例研究をタイムリーに行う。②研究部会は本来のねらいである情報交換の場とする。このため共通のテーマを選び、各委員企業での取り組みなどを見学しヒントをもらう。階層別教育講座は、①経協の持ち味である異業種交流ができる仕掛けを行うとともに、グループディスカッションを入れていくなどの工夫を加え実施する。②コーチング・スキルについて「係長主任基礎コース」の部下指導、OJTの指導研修項目の中に加え実施する。③若手社員活性化コースは、キャリアデザインや意見交換などを交え実施する。職能別教育講座は、①成功・失敗事例の紹介に加え、実務面で参加者が意見交換できるように工夫し実施する。②開催時期を変更し、「CS（顧客満足）基礎セミナー」は3月に、「購買管理実践セミナー」は2月に実施する。

■管理者基礎コース

11月12・13日（金・土）1泊2日

の日程で、34名が参加して、インテック大山研修センターで開催した。この研修は、①自分のマネジメントスタイルを持ち、状況に応じた意思決定ができ、会社目的を達成する。②部下にやりがいを与え、仕事（成長）を助け、チームで成果を上げる。③顧客第一・現場の発想で、職場（会社）を革新（改善）できる管理者を目指すことをねらいとしている。



市川登（財）日本生産性本部認定経営コンサルタントが、経営環境の変化の潮流と経済・社会構造の改革について解説。近年の特徴は「速い」「大きい」「不透明」の3つに収斂され、環境を鋭く察知して的確に対応していくことが重

要であるとした。戦略形成のステップについて学んだ後、計画・実施・統制など管理者の日常の役割行動について細部にわたって洗い出し、グループで分析し、発表した。また、ベンチマーキングを行い各社の得意技について意見交換した。

部下の育成では、VTRのケースを使い、部下のコーチング面接の演習を実施。企業倫理、労務管理の重要性についても学んだ。研修で自覚したポイント、現状・自己の事実分析をもとに、業務にどう活かすかについて「自己啓発シート」を作成した。懇親会では活発な異業種交流が繰り広げられた。

（「参加者NOTES」16頁掲載）

■コスト改善力実践コース

11月17日(水)、34名の参加で、富山商工会議所ビルで開催した。

講師の(株)MEマネジメントサービス 小川正樹常務取締役は、企業環境が変化するなか、業績の良

い会社は共通して、原価の80%が決まる設計から生産準備段階の見積原価計算をし、コストを「見える化」することでネック工程を明らかにし、コストダウンにつながる改善を行っているとして、原価計算のやり方、レート計算のやり方、時間計算と加工費計算のやり方、経営業績に直結する原価計算の活



かし方、現場で役立つ損得計算と原価計算など、適切な見積原価計算と原価計算結果を活用したコストダウン技術について、事例や演習を交えて詳しく解説した。

■「5S+目で見える管理」実践コース

12月2日(木)、75名の参加を得



て富山商工会議所ビルで開催した。

(財)中部産業連盟 三木素直上席主任コンサルタントは、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）は、ただ単に職場をきれいにしておくだけではなく、付加価値を生まない仕事やムダをなくするための全員参加の活動であり、品質・納期・コスト・安全・環境・士気のすべてに効果がある。また、「目で見える管理」とは、人間は90%の情報を視覚から得ているので、「目で見て正常か異常かがすぐ分かり、必要な手がすぐに打てる状態にすること」であるとし、管理の進め方について、演習や現場での実践事例を交えて詳しく解説した。

参加者NOTES

教育委員会

「管理者基礎コース」を受講して

ワシマイヤー株式会社
技術課 課長 嶋崎 浩一



受講させて頂きましたときは、私が課長職を拝命してからまだ1年も経過していませんでした。管理職の第1階たる課長というものにはこうあるべきだという明確な課長職像を市川先生に示していただきました。しかし、正直これまでの自分の業務内容と照らし合わせると、知識や考え方など、理想の課長には程遠いと感じました。

課長は Playing Manager であり、自分だけが仕事をできてもダメであり、如何に部下にやりがいを与えチームとして成果を上げられる

かを、研修中再三にわたって先生が繰り返し語っておられました。これは部下の性格や癖などを知り尽くし、そしてまた、人間を好きになり、時には自分の弱さをさらけ出し、よりよい人間関係を築くことが重要であると理解しました。

市川先生の豊富な知識と時間に対する厳しさなど、どれ一つをとっても非常に勉強になる密度の濃い2日間であったように思います。テキストの説明の間に色々なお話をされておりましたが、ある重役の体験談に「課長時代が一番キ

ツかったが、一番充実していた」。また、「課長職が大変なのは、上役の方は皆分っている」「自分1人になったと思うな。色々な人からの推薦があって始めてなれた課長だ。そして誰にでもなれるものではない」。そのような経験者しか分からない体験談を聞くにつれ、恥ずかしながら『自分が今その真っ只中にいるんだな』と改めて実感させられたように思います。

本研修を受講する機会を与えてくれた上司の方々に感謝すると共に、理想の課長職に近づけるよう、少しずつ努力してゆきたいと思います。最後になりましたが、お昼休みのキャッチボールで味わたった手の痛みを思い出しながら精進してゆきたいと思います。

品質管理委員会

■定例委員会

12月22日(水)、町野委員長はじめ委員13名が参加して、富山経協・研修室で開催した。今回は、2010年度の事業活動の報告と2011年度の事業計画について審議を行った。

2010年度については、定例委員会、県内・県外企業見学研修会、教育講座関係等、ほぼ計画通り実施することができた。また、委員長が委員企業を訪問し、次年度計



画に反映すべく各社の課題とその成果をヒアリング、それを受けて当委員会への要望等について打ち合わせを行った。

2011年度については、基本的には2010年度を引き継いで進めていくこととするが、委員会活動の活性化をねらいに、講座の担当委員制の導入や定例委員会でのグループディスカッションの実施等に取り組むこととした。

講座関係では、入門講座を春・秋に分割開催、また、経営層向けの講座「経営トップミーティング」(仮称)を新たに開催することとした。

■ものづくり講演会

11月15日(月)、町野委員長はじめ146名が参加して、富山県民会館で開催した。



JUKI(株) 取締役 山岡修二氏から「JUKI 大田原工場に於けるモノ造りへの取り組み」、また、(株)デンソー 常務役員 湯川晃宏氏から「品質向上への取り組み」と題して、経験に基づいた自社の「ものづくり」「人づくり」に関する取り組みを紹介いただいた。品質管理の先進企業の事例に対して、参加者からは活発な質問が相次いだ。

環境委員会

■幹事会

12月17日(金)、園副委員長をはじめ幹事10名が出席して、富山経協・研修室において開催した。

園副委員長挨拶の後、2010年度の事業報告と評価、2011年度事業計画(案)について審議を行った。

2010年度は、予定していた行事をほぼ計画どおり実施することができた。

2011年度は、今年度に引き続き「地球温暖化対策」を特定テーマとして活動を進めることになった。



【2011年度重点課題】

- ①環境関係情報(富山県等)の発信
- ②富山県生活環境文化部との情報交換会の開催
- ③セミナー、事例発表会の開催
- ④省エネ等事例紹介を含めた「事例発表会」報告書の発行
- ⑤見学研修会(県内・県外)の開催

なお、2011年度は事例発表会に先立ち、情報交換会を開催し、その場で意見交換された内容を事例発表会で発表することとした。

■事例発表会

11月18日(木)、44名が参加して、富山商工会議所ビルで開催した。

環境委員会では、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築に向けて、企業経営の視点から省資源・省エネルギーや地球



温暖化対策等の調査・研究に取り組んでいる。その一環として、「我が社の環境への取り組み」をテーマに事例発表を会員企業に募集したところ、4社から申込みがあり、中越パルプ工業(株)の土屋正夫部長、(株)北陸銀行の西中敏主任、三協・立山ホールディングス(株)の藤田武宣参事、伊藤忠商事(株)の佐藤博司エネルギー管理士から発表をいただいた。環境業務に携わる参加者は他社の省エネ事例を熱心に聴講していた。

文化交流委員会

■定例委員会

12月7日(火)、立山黒部貫光「立山研修会館」において、桑名委員長はじめ委員11名が出席して開催し、下記の議案について審議した。

(1) 2010年度事業報告

事務局よりゴルフコンペ、ボウリング大会ならびに当日開催した「見学と講演の会」の実施状況について報告し、審議した。いずれも参加者の増加をみており、了承された。

(2) 2011年度事業計画(案)

活動の見直し2年目の本年度の実施状況が順調であったことを踏まえ、新年度も同様に実施するとの内容で事業計画(案)を事務局から報告した。「講演会」「見学会」については、本年度のように合体しての企画など、柔軟な対応も選択肢とするなどの意見が出たのち、承認された。



■見学と講演の会

定例委員会に先立ち12月7日(火)、「見学と講演の会」を20名の参加により、立山黒部貫光「立山研修会館」で開催した。



まず、金山秀治立山黒部貫光(株)相談役より「創業の精神 ～山と川に挑んだ佐伯宗義～」と題した講演を拝聴、創業から現在に至るまでの歩みの中での苦難を知り、また、それを乗り越えて来た創業者の情熱が同社の中に根付いていることが参加者の心に刻まれた。

その後、創業者の富山市での旧宅であり前身会社の本社事務所ともなった会場建物内の展示資料を見学、創業精神の一端に触れた。

■会員交流ボウリング大会

11月17日(水)、富山地鉄ゴールデンボウルにおいて「会員交流ボウリング大会」を開催した。昨年に引き続いての平日夕刻開催であったが、前回は上回る24社から30チーム120名の参加があった。

今井喜義チューリップテレビ常務取締役による始球式は、見事ストライクとなり冒頭から盛り上がる中、熱戦が繰り広げられた。ゲームは1チーム4人による2ゲームトータルスコアで競われた。参加者は日頃のチームワークを遺憾なく発揮。職場仲間の応援や隣のレーンとの交流もある和やかな雰囲気ですべてを深め合った。

競技結果は次の通り。

- <優勝> ナチマシナリーエンジニアリングチーム
- <次 勝> トナミ運輸チーム
- <第3位> 武内プレス工業チーム



優勝のナチマシナリーエンジニアリングチーム ▶

新会員紹介

■エコサイクル株式会社

所在地 富山市赤田694番地2
 代表者 代表取締役
 シュリハリ・チャンドラガトギ
 創業 1999(平成11)年5月
 資本金 7,915万円
 従業員 18名
 事業内容 バイオレメディエーション用浄化剤の開発・製造・販売



■黒部峡谷鉄道株式会社

所在地 黒部市黒部峡谷口11番地
 代表者 代表取締役社長
 加藤 和彦
 設立 1971(昭和46)年5月
 資本金 2億5,000万円
 従業員 270名
 事業内容 鉄道業(営業区間 宇奈月～樺平間)、構内売店事業(売店・食堂・駐車場)、受託事業(関西電力専用鉄道運輸施設の運転保安、黒部川電気記念館の管理運営)



2010年冬季賞与妥結結果(最終集計)

1. 県内

全業種総平均ではプラスに転じるも、業種によりバラツキ

富山経協は12月27日、「2010年冬季賞与妥結結果」(単純平均・最終集計)をまとめた。集計可能な95社の妥結額平均は428,523円で、今回回答のあった企業の昨冬の妥結額(410,193円)と比べると、金額で18,330円増加し、増減率でプラス4.47%となっている。(表1)

しかしながら、昨冬の最終集計金額441,663円(今冬の場合一部異なる99社の集計)を下回っていることや、今冬の集計でも17業種中「一般機械」や「輸送用機械」などで昨冬の厳しい対応からプラスに転じた一方で、6業種で昨冬比マイナスとなるなどバラツキが見受けられ、未だ調整局面と考えられる。

2. 全国大手

165社単純平均695,217円、昨年冬の調査比プラス3.53%

日本経団連が12月15日に取りまとめた「2010年冬季賞与妥結結果」(単純平均・最終集計)によると、調査対象の全国大手企業(主要21業種、大手250社)のうち、集計可能165社の妥結額平均は695,217円で、2009年冬の最終妥結実績(164社、平均671,507円)と比べると、金額で23,710円増加し、増減率でプラス3.53%となっている。(表2)

(表1) 県内企業の2010年冬季賞与・一時金妥結結果[単純平均]
(最終集計—2010年12月27日) (社)富山県経営者協会

業種	社数(社)	2010年冬季妥結額(円)	2009年冬季妥結額(円)	前年同期比(%)
織 維	3	492,952	381,313	29.28
印 刷	3	331,454	320,734	3.34
化 学	9	549,325	566,767	△3.08
プラスチック製品	5	356,585	352,724	1.09
鉄鋼・非鉄金属	2	592,500	607,500	△2.47
金 属 製 品	8	386,126	368,839	4.69
一般機械器具	11	351,963	281,571	25.00
電気機械・電子部品	5	338,374	381,253	△11.25
輸送用機械器具	5	463,851	417,015	11.23
その他製造業	9	399,631	390,337	2.38
建 設 業	3	308,365	242,446	27.19
電 気 ・ ガ ス	3	838,829	788,534	6.38
運 輸 ・ 倉 庫	4	308,457	324,318	△4.89
情報サービス・通信	3	498,020	583,157	△14.60
卸 ・ 小 売	11	434,632	378,623	14.79
金 融 ・ 保 険	4	604,882	581,949	3.94
サービス業・その他	7	340,891	371,139	△8.15
総 平 均	95	428,523 (515,734)	410,193 (495,093)	4.47 (4.17)
製 造 業 平 均	60	415,891 (474,764)	395,634 (462,101)	5.12 (2.74)
非 製 造 業 平 均	35	450,177 (562,906)	435,152 (533,343)	3.45 (5.54)

(注) ①調査対象は426社、うち集計可能な回答のあった95社の数値である。
「2009年冬季」は今回回答のあった企業の昨年同期の数値である。
②平均欄の上段は1社当たりの単純平均、下段の()内は1人当たりの加重平均である。
③前年同期比の△印はマイナスを示す。

(表2) 全国大手企業の2010年冬季賞与妥結結果[単純平均]
(最終集計—2010年12月15日) (社)日本経済団体連合会

業種	2010年冬期		2009年冬期		前年未比(%)
	社数(社)	妥結額(円)	社数(社)	妥結額(円)	
総 平 均	165	695,217 (774,654)	164	671,507 (755,628)	3.53 (2.52)
製 造 業 平 均	138	681,219 (752,870)	134	652,189 (728,589)	4.45 (3.33)
非 製 造 業 平 均	27	766,761 (839,092)	30	757,793 (834,020)	1.18 (0.61)

(注) ①調査対象は主要21業種・大手250社。東証一部上場、従業員500人以上が原則。
「2009年冬季」は昨年の本調査の最終集計結果である。
②上段は1社当たりの単純平均、下段の()内は1人当たりの加重平均である。

会員の動き

(五十音順)

(五十音順) (敬称略)

■ 笹嶋工業株式会社

所在地 南砺市三ツ屋28番地
代表者 代表取締役社長 笹嶋 正八
創 業 1919(大正8)年4月
資 本 金 4,000万円
従 業 員 92名
事業内容 電気・土木建築工事



■ 代表者の変更

協立アルミ株式会社

代表取締役社長 西村 英男 (前:麻生 博)

ゼオンノース株式会社

代表取締役社長 藤澤 浩 (前:梅澤佳男)

日本カーボン株式会社 富山工場

常務取締役工場長 本橋 義時 (前:櫻井文良)

日本ゼオン株式会社 高岡工場

工場長 藤澤 浩 (前:梅澤佳男)

株式会社 三田商会

代表取締役社長 黒田 一紀 (前:黒田 昭)

富山県の最低賃金

詳しいことは、富山労働局賃金室
又は富山、高岡、魚津、砺波の各
労働基準監督署にお尋ねください。

最低賃金の種類		時間額 (日額)	発効年月日
富山県最低賃金(地域別)		691円	2010年10月27日
特定 (産業別) 最低賃金	金属製サッシ・ドア、鉄骨系プレハブ住宅、建築用金属製品、アルミニウム・同合金プレス製品製造業最低賃金	770円	2010年12月18日
	玉軸受・ころ軸受、他に分類されないはん用機械・装置、トラクタ、金属工作機械、機械工具、ロボット、自動車・同附属品製造業最低賃金	791円	2010年12月22日
	電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金	737円	2011年1月20日
	百貨店、総合スーパー最低賃金	759円	2010年12月8日
	自動車(新車)小売業最低賃金	769円	2011年1月20日
	洋紙、板紙、学用紙製品製造業最低賃金	705円 (5,637円)	1995年11月24日
	高炉によらない製鉄、製鋼・製鋼圧延業最低賃金	753円 (6,024円)	1998年12月26日
	非鉄金属第1次製錬・精製業、非鉄金属・同合金圧延業、アルミニウム・同合金ダイカスト、非鉄金属ダイカスト製造業最低賃金	770円 (6,156円)	2000年12月26日

- (注) ① 最低賃金の算定に当たっては、「精皆勤手当」、「通勤手当」、「家族手当」、「時間外手当」及び「賞与」などを除く。
② 特定最低賃金では、上記の適用除外業務のほか、年齢や業務などによる適用除外があり、地域別最低賃金が適用される。

人材の確保・従業員の再就職をお手伝い!

事業の拡大・欠員補充等による
人員確保を行いたいとき

事業の整理・縮小等に伴い、
人員削減せざるを得ないとき

そんなとき、お気軽にご相談ください。



since 1987

出向・移籍(転籍)の専門機関

財団法人 **産業雇用安定センター**

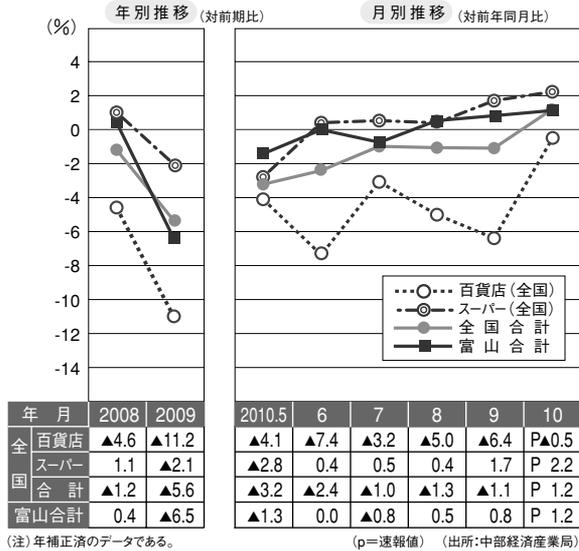
〒930-0857 富山市奥田新町8-1 ボルファートとやま10F TEL 076-442-6900

ご利用時間/9:00~17:00(土・日・祝日は休み) FAX 076-439-2860

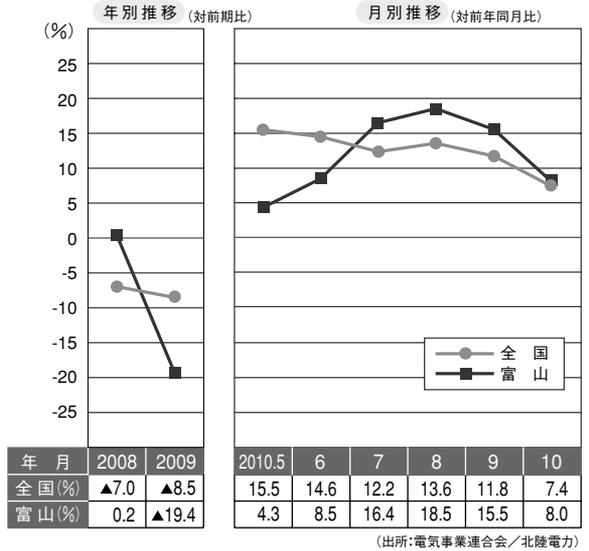
インターネットで最新の人材情報をどうぞ <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

景況指標

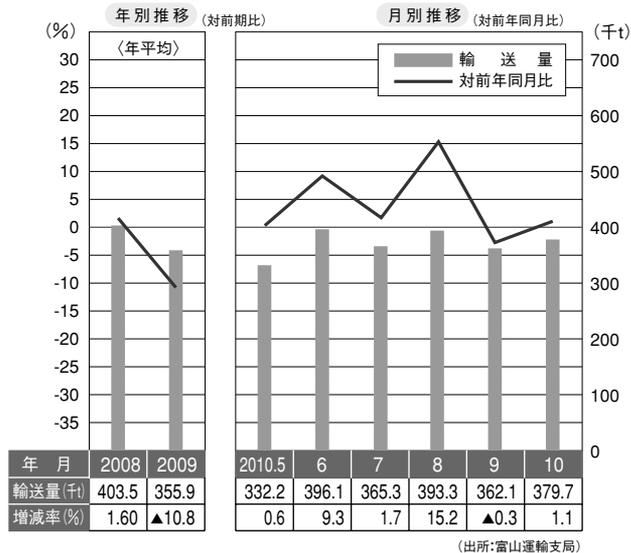
■百貨店・主要スーパーの売上高



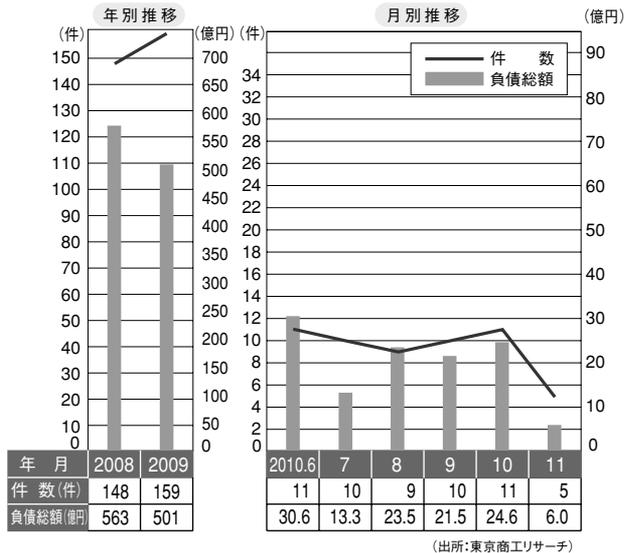
■大口電力消費量 (製造業計)



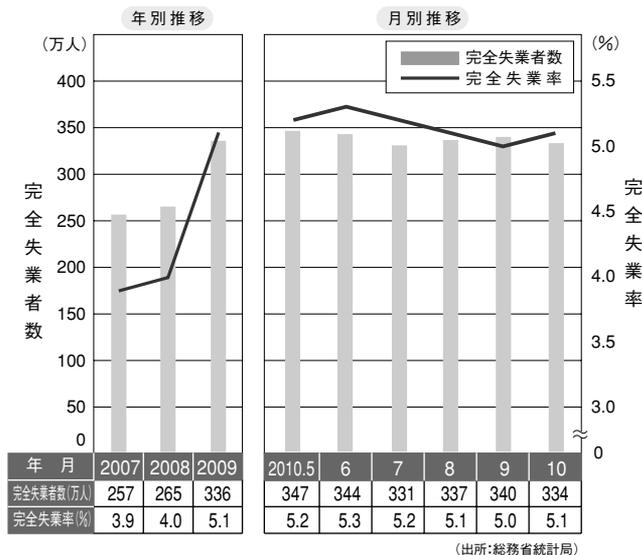
■一般貨物自動車輸送量 (富山県内)



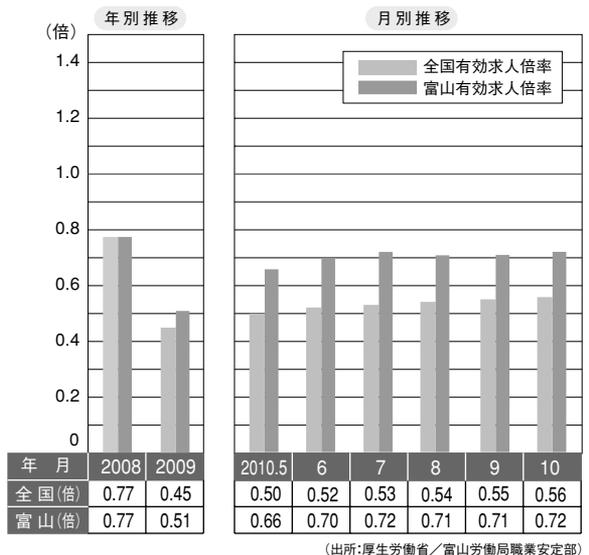
■企業倒産 (富山県内) (件数と負債総額)



■完全失業者数及び完全失業率 (季節調整値)



■有効求人倍率 (パートを含む季節調整値)



おしらせ

別途ご案内
申し上げます。

理 事 会

日 時：2月7日(月) 17:00～19:00

場 所：名鉄トヤマホテル

〈内容〉・第66回定時総会付議案件審議
・委員会活動報告

・研究部会研究報告 人事・労務政策委員会「メンタルヘルスの現状と対策」
教育委員会「教育体系と管理者教育の課題」



2011年度 労使交渉セミナー ～労使交渉に対する経営側の基本姿勢～

日 時：2月4日(金) 13:30～15:30

場 所：富山商工会議所ビル9階 99号会議室

〈演題〉「2011年春季労使交渉・協議に向けての経営側のスタンス」

講 師：(社)日本経済団体連合会 労働政策本部 主幹 遠藤 和夫 氏

受講料：会員 4,000円(税込み)

(テキスト「経営労働政策委員会報告」「春季労使交渉・協議の手引き」等含む)



改善レベルアップセミナー ～業務改善・応用編～

日 時：3月16日(水) 13:30～16:30

場 所：富山商工会議所ビル9階 99号会議室

講 師：日本HR協会 KAIZEN事業部 改善コンサルタント 東澤 文二 氏

受講料：会員 10,000円(税込み)



行 事 予 定

2011年1月15日～3月30日

詳しくはホームページ (<http://www.toyama-keikyo.jp/>)
「講座・講演案内」をご覧ください。

	開催日	時 間	事 業 名	委員会名	場 所	備 考
会 議	1月19日(水)	16:30～18:30	労働法制研究部会	人事・労務政策	富山経協・研修室	
	1月20日(木)	16:00～18:00	総務部会月例会・研修会	総 務	関西電力北陸支社	
	1月27日(木)	15:00～16:30	総務委員会「定例委員会」	総 務	富山電気ビル	
	2月7日(月)	17:00～19:00	理事会		名鉄トヤマホテル	上記おしらせ参照
	2月16日(水)	15:00～17:30	富山県工業教育振興会「産学懇談会」	富山県工業 教育振興会	名鉄トヤマホテル	
	2月22日(火)	16:00～	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	富山経協・研修室	
	3月3日(木)	11:00～12:00	連合富山との懇談会		ANAクラウンプラザホテル富山	
	3月4日(金)	16:00～17:30	経営特別委員会	経営特別	富山経協・会議室	
セ ミ ナ ー ・ 講 座	1月19日(水)	13:30～16:00	労働法実務研修会	人事・労務政策	富山商工会議所ビル	
	1月19日(水)	9:00～17:00	管理職マネジメント研修(第4回)	教 育	富山県農業総合研修所	
	2月4日(金)	13:30～15:30	2011年度労使交渉セミナー	人事・労務政策	富山商工会議所ビル	上記おしらせ参照
	2月16・17日(水・木)	9:30～16:30	係長・主任基礎コース	教 育	富山県市町村会館	
	2月25・26日(金・土)	9:00～13:00	管理職マネジメント研修(第5回)	教 育	富山県農業総合研修所	
	3月15日(火)	13:30～16:30	改善レベルアップセミナー～応用編～	教 育	富山商工会議所ビル	上記おしらせ参照
	3月16日(水)	9:00～17:00	管理職マネジメント研修(第6回)	教 育	富山県農業総合研修所	

表紙の花

センリョウ(センリョウ科)

冬、緑の葉の上にきれいな赤い実をつけ、縁起木として正月飾りによく使われる。名前がよく似たマンリョウ(万両)は植物学的には全く別の仲間、実は枝からぶら下がるように着く。
(富山県中央植物園 中田政司)

「富山経協」vol.792

2011年(平成23年)1月号
2011年1月15日発行(隔月〈奇数月〉15日発行)

社団法人 富山県経営者協会

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目1番3号(富山商工会議所ビル 別館5階)

TEL (076) 421-9588 FAX (076) 421-9952

ホームページ <http://www.toyama-keikyo.jp/>

Eメール info@toyama-keikyo.jp